

令和6年度「広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業」成果報告書

岩国短期大学

幼児教育科 准教授 西本裕子

【研究テーマ】 錦川清流線と錦川流域の自然環境を幼少期の体験活動に利活用する取り組みによる地域活性化に向けた産学官連携システムの構築

【活動の目的】 人口流出と高齢化が進む中、中間山間部では地域活性化が大きな問題となっている。岩国市で存続が危惧されている錦川清流線とやましろ地域（錦川流域）の自然の魅力を親子に発信することで、地域活性に繋がると考え、親子イベントを実施した。イベント企画を地域の事業者等と学生・教職員で意見交換し、学生がやましろ地域の魅力を活かした地域活性化について課題を考えることを目的とする。

【参加学生】 幼児教育科1年5名  
幼児教育科2年5名

【連携地域団体】 岩国市・岩国市錦総合支所・岩国市本郷支所  
やましろ商工会 錦川鉄道株式会社・吉川林産興業（株）・  
（株）デナリファーム・（有）らかん高原・錦川観光協会

【活動の内容】

やましろ地域を活性化するために、「親子で一日アドベンチャー」イベント企画を考え実施した。錦川清流線を利用し、錦駅周辺の自然に触れてもらうことで、山間部の良さを親子で感じてもらうイベント企画である。子どもたちにとって、自然遊びは重要な遊びであり、自然の中で五感を感じる体験をすることをねらいに入れ込んだ。

イベントを企画するうえで、学生もやましろ地域の特色をあまり知らない現状であり、まずは地域の調べ学習から始まり、地域の方々との意見交換等を得て、企画をまとめ実現することができた。



実施期間	場 所	活 動 内 容
R6 7月	岩国短期大学	・ 研究計画の策定
R6 8月	錦町商工会	・ イベント企画案の検討及び現地の下見
	岩国短期大学	・ イベント企画の決定
	デナリファーム	・ イベント関連業者との打ち合わせ
	岩国短期大学	・ イベント企画の話し合い及び制作物の作成 
R6 9月	岩国市錦町～ 羅漢高原	・ A コースイベント実施 6組の親子（親：10名・子：11名）21名参加 高原遊び：凧あげ・紙飛行機・シャボン玉・そうめん流し レクリエーション（モルック） 
	岩国短期大学	・ A コース実施後のアンケート調査の課題及びまとめ ・ 関連企業へのお礼  ・ B コースの企画打ち合わせ ・ イベント企画の制作物の作成 ・ 関係機関との連絡調整及び協力依頼
R6 10月	岩国市錦町	・ B コースイベント実施 13組の親子（親：20名・子：24名）44名参加 収穫体験（芋ほり） ピザづくり（マジックシアターで不思議なピザを工作）

		
	岩国短期大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B コース実施後のアンケート調査の課題及びまとめ</li> <li>・ 関連企業へのお礼</li> </ul>
	岩国短期大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ C コースの企画打ち合わせ</li> <li>・ イベント企画の制作物の作成</li> <li>・ 関係機関との連絡調整及び協力依頼</li> </ul>
	岩国市錦町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ C コースイベント実施</li> </ul> <p>12組の親子（親：16名・子：21名）37名参加 町探検→トンネル→光遊び→鯉の餌やり 木工体験（丸太切り、木工工作）</p> 
	岩国短期大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施後のアンケート調査・C コース実施の課題及びまとめ</li> <li>・ 関連企業へのお礼</li> </ul>
R6 11月	岩国短期大学	アンケート分析と課題を踏まえた改善企画の作成
	岩国短期大学	関連自治体との来年度以降の連携事業の検討会
R6 12月	岩国市錦町	地域関係者へ課題報告会
	岩国市錦町	地域関係者へのお礼
R7 1月	岩国市錦町駅	<p>学生の手作りおもちゃ等のお土産と実施報告パネルの展示</p> 

## 【活動の成果】

### 1. 産学官連携システムの構築

岩国市に在住している学生もやましろ地域の特色をあまり知らない。また、錦川清流線に乗車したことがない学生が多いのが現状であった。今回のイベントを通して、やましろ地域の自然活用が地域活性につながると考える。地域の方々と課題報告会で、「日頃の目にしている、自然の遊びがこれほどまで親子にとって楽しめる企画になるとは思っていなかった。」等の意見をいただいた。

イベントを通して、地域の方々が、新しい自然体験イベントを考えだされたり、今まであったイベントをより充実した内容に変化されたりしたことで、地域に新しいイベント内容を構築することができた。

学生の豊かな発想や意見を地域の方々と一緒になって検討し話し合いの場で意見交換できたことで企画がまとまり、産学官の連携によりイベントを成し遂げることができた。やましろ地域の方々と事業所及び岩国市と来年度以降も連携を深めることになった。新しい取り組みの実施も考えている。

### 2. 学生への教育効果

やましろ地域の地域活性について、「錦川清流線の活用」「人の往来が増え活性化に繋がるには、どのような対策をすればよいか」「やましろ地域の魅力を活かすためにはどのような事業を起こすとよいか」など、学生は地域の方々と一緒に考える機会をいただき、意見交換することで深く学ぶことができた。

また、今回のイベント「親子で一日アドベンチャー」で、保育者を目指す本学学生は、自然の中で子どもたちに楽しんでもらい、親子で安心して体験活動をして遊べることを重要視し、子どもたちに自然の中で五感を感じてもらおう企画を実行したことが大きな学びとなった。保護者や子どもたちの反応を間近に感じ、臨機応変な対応やコミュニケーション力など、今後の保育者として大きく成長する機会を得ることができた。